

令和3年4月15日

令和3年度 三原市一校一貢献事業実施計画書

三原市立第四中学校  
校長 河隅 道子

1 「三原市一校一貢献事業」をどのように教育課程に位置づけ、何をを目指すのか。

【ミッション】社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成

【めざす生徒像】

- 夢や志に向かって自ら挑戦する生徒
- 他者を思いやり協力して課題解決できる生徒
- 話を真剣に聞き考えを正しく表現できる生徒
- 自ら 学校 地域への誇りを培う生徒

- 校内環境整備作業や地域清掃活動等の体験活動の充実
  - ・ボランティア活動の推進(特別の教科「道徳」、総合的な学習の時間、学級活動)
  - ・小中連携教育(特別の教科「道徳」、総合的な学習の時間、学級活動)

2 「三原市一校一貢献事業」を実施して期待される効果

- 愛校心
- 郷土愛
- 所属意識の向上

3 実施計画

- 6月 地域クリーン活動
- 8月 環境整備作業
- 11月 吹奏楽部演奏活動(小学校, 地域福祉施設等)
- 12月 地域クリーン活動(部活動ごと)

4 成果指標

- 生徒アンケートの実施
  - ・「人の役に立ちたいと思う」項目の90%以上
  - ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」項目の70%以上